

宮農情報報

畜産関係

平成27年5月期子牛セリ市結果

☆5月期JA主催子牛品評会
5月11日、JA畜産センターで、
5月期子牛品評会を開催しました。

JAえびの市管内	今回(27年5月)		前回(27年4月)			前年(26年5月)		
	頭数	平均価格	頭数	平均価格	増減	頭数	平均価格	増減
メス	96	609,536	93	647,407	△37,871	97	548,049	61,487
去勢	133	693,538	137	708,314	△14,776	139	614,147	79,391
計	229	658,323	230	683,686	△25,363	236	586,980	71,343

成績は、下表のとおりです。
(敬称略)

☆5月期郡子牛品評会

5月15日、西諸畜連で郡子牛品評会が開催されました。

JAえびの市管内から12頭が出品され、成績は下表の通りです。(敬称略)

☆5月期子牛セリ結果

5月20日～22日までの3日間、西諸畜連で5月期子牛セリ市が開催されました。成績は上表の通りです。

子牛セリ市終了後の事故が多発しています。生産者の皆さんは解約や値引き等発生しないように、飼養管理には充分注意して下さい。子牛生産検査以降に発生したケガや尿石等の事故、その他小さなことでも気付いた点は、担当者に相談するか、またはセリ市上場時に必ず発表するようお願いいたします。



平成27年5月期JA子牛品評会成績

	名	号	出品者(敬称略)					
優等賞	た	だ	ひ	ら	上田 勲			
壹等賞1席	う	み	の	5	杉水流 征弘			
壹等賞2席	み		ほ		竹下 俊廣			
壹等賞3席	第	1	5	7	とも	藤内 智之		
壹等賞	ふ		く		横山 雅俊			
//	り	り	か		山里 育代			
//	ほ	な	み		吹上 和也			
//	み		ほ		川俣 季徳			
//	は		な		有村 和行			
//	つ	む	ぎ		奥松 志夫			
//	み		え		中原 安尋			
//	み	や	び	2	0	4	横山 大樹	
弐等賞	か	の	ん		岡原 正己			
//	も	も	か		福満 勝夫			
//	み	や	び	2	0	6	横山 大樹	
//	第	8	2	4	み	ち	こ	木村 浩二
//	な		つ		森田 誠一			
//	か		な		川野 信夫			

※壹等賞・弐等賞は序列はつけてありません

平成27年5月期郡子牛品評会成績

	名	号	出品者(敬称略)				
優等賞	第	1	5	7	とも	藤内 智之	
//	た	だ	ひ	ら		上田 勲	
//	み		ほ			竹下 俊廣	
壹等賞	ふ		く			横山 雅俊	
//	う	み	の	5		杉水流 征弘	
//	ほ	な	み			吹上 和也	
//	は		な			有村 和行	
//	み		え			中原 安尋	
//	み	や	び	2	0	4	横山 大樹
弐等賞	り	り	か			山里 育代	
//	み		ほ			川俣 季徳	
//	つ	む	ぎ			奥松 志夫	

※ 壹等賞・弐等賞は、序列は付けてありません。

JA えびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。

早期の暑熱対策に努めましょう

梅雨に入ると、高温多湿の環境が続き、ストレスが発生しやすい時期です。この時期の飼養管理には常に注意を払う必要があります。

また、梅雨が明けると気温の高い日が続く、子牛の病気や繁殖牛については、採食量の減少、受胎率の低下等を招き生産性の低下が心配されますので、飼養管理には充分注意してください。牛の快適温度は15度～25度となっており、えさ食いが良く、種付きも良いとされています。

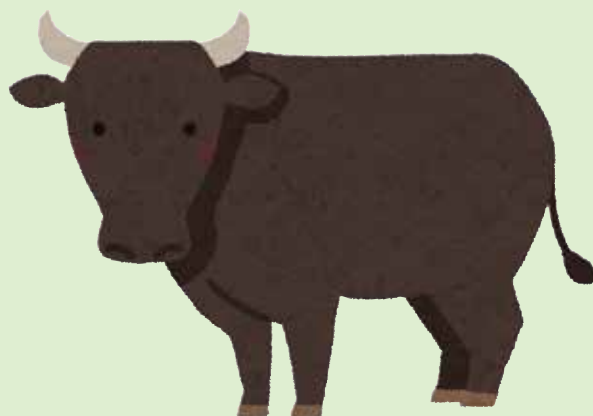
梅雨時期にはカビによる飼料の変質、堆肥の滞留や雨による床の汚染、蚊・アブなどの吸血昆虫の発生等、飼養環境の変化によって病気が発生しやすい時期でもあります。下記の対策を行ってください。

- ◎濃厚飼料はまとめ買いを避け、保管は高温多湿な場所を避けて保管して下さい。
- ◎牛舎は湿りやすい時期ですので、こまめにボロ出しを行い、アンモニア等の発生を抑え悪臭防止に努めましょう。
- ◎電気殺虫器等早めの設置を行いましょう。

暑熱の対策として

- ◎牛の周囲の気温を下げるため、風通しを良くし直射日光を遮る。(寒冷紗等の利用)
- ◎牛舎屋根等への散水。
- ◎送風機、扇風機等の活用により直接牛体を冷やす。
- ◎新鮮な水の給与を行う。(飲水場は直射日光の当たる場所は避けて設置)
- ◎密飼いを避ける事も効果的です。

なども行ってください。



営農情報

☆イチゴ

(担当：山下)



良い苗、充実苗づくりがイチゴの基本

- 1. 鉢上げ作業と浸水防止対策
- 2. 活着促進
- 3. 炭そ病防除

本圃の管理

・土壌分析の土提出(全戸全圃場)をお願いします。

・収穫株は、ハウス内を蒸し込んで害虫(スリップス、コナジラミ)駆除後、株の抜き取りか太陽熱消毒を実施するか、土壌消毒(線虫駆除)を行ってください。

また、イオウ病発生圃場は、クロピクフロア、バスマミド、キルパーにて消毒をお願いします。

高設でのキルパーを使用される方については、薬量計算が必要になりますので、連絡をお願いします。

親株床の管理

・排水対策を徹底し、ランナー発生後混み合わないよう均等に配置してください。また、乾燥状態が続く場合灌水作業を行います。

・炭そ病対策として、完全な雨よけ+育苗床はシートによる泥はね防止を実施してください。

◎園芸関係◎

・頭上からの灌水を行っている場合、病斑が出ている株の周辺の株も感染している可能性が高いです。一緒に処分するか、隔離して育苗することをお勧めします。

・鉛筆の大きさを確保してください

7月2日は、第30回いちご部会総会です。

☆キンカン

(担当：山下)



キンカンの花芽分化時期となり最も重要な時期に入ります。

花芽分化への誘導をするために花芽前の粟子が出る前までメリツト黄色を500倍で週1回程度散布を行います。少量多灌水を行い花芽前の管理に努めましょう(3t/10a、7~10日間隔)。夜温20℃以上で管理すると花芽分化が起こります。1番花の開花予定日の2週間前から夜温23℃、昼温30℃で管理しましょう。

開花前に子房の細胞数の増加と子房の生育肥大を目的に尿素の500倍の散布を行ってください。開花期に32度以上の高温に遭うと結実が悪くなり、す上がり果や生理落果の要因となります。花芽時期は高温にならないようにサイドビニールの除去を行い雨よけで管理を行ってください。

開花時期は灰色カビ病やスリップスに注意し防除を行いましょ。

☆栗

(担当：山下)



開花後の管理としてベンレート水和剤を使用し実タンソン病の予防とアブラムシ、クスサンなどの病害虫防除ではエルサン乳剤を使用し防除を行いましょ。近隣に野菜畑がある場合は注意して無風の時間に散布をお願いします。

低樹高剪定後の芽かぎは新梢停止後の7月中旬頃から行い1m当たり8本程度残して芽かぎを行います。基部が1cm以上長さが1m以上の徒長枝を残します。

キクイムシ、コウモリガの発生が多くありますので注意してください。



4月22日 栗部会の総会を開きました

☆ゴーヤー

(担当：中村)



着果量が多くなると、曲果や尻太、尻細果が起こりやすくなります。草生維持のため、1週間間隔でN成分1.5kgの施与が必要ですので、ラッキーほかし777を20kg/40kg/10aの追肥を行いましょ。

梅雨時期は必ず人工交配を行って着果量の確保を行ってください。うどんこ病や斑点病が発生しないように予防中心の散布を行ってください。殺菌剤はジーファイン水和剤やZボルドーの散布を行いましょ。

気温が高くなるにつれハスモンヨトウ、ウリノメイガ、オオタバコガの発生にも注意しましょ。曲果には、スマートを装着しA品率に努めましょ。

露地栽培は、雑草が生えないように管理し、風などの影響でつるが折れないようにテープ等で固定作業を行ってください。

☆キュウリ

(担当：加治佐)



梅雨時期に入りますので、天気の子報を参考にしながらべと病の発生に注意して管理を行ってください。

収穫が始まる頃から追肥を行うようにし、追肥遅れとならないようにしましょ。アブラムシやスリップスによるウイルス病の発生がないように早期防除に努めましょ。



4月24日 ピーマン目揃え会

☆ピーマン

(担当：中村)



農繁期になりました。田植え等の作業の影響で収穫や枝の整理が遅れないように管理に努めてください。

ハウス内が高温高湿度にならないように換気に努めましょう。

着果が安定しない場合は、ホスプラスを葉面散布し着果に努めましょう。

尻腐れ果対策でカルアツプ500倍散布を行います。

追肥の量については、トミー液肥で6〜7月で6〜8L/1回/週2回行います。

梅雨時期に入り、高湿度、気温差で黒枯病、菌核病、灰色カビ病の発生には十分に注意しましょう。

☆菊

(担当：加治佐)



奇形花対策として、ハウス内温度を出来る限り抑えることと、消灯時の節数を27〜30節程度とします。葉焼け対策として、遮光資材の利用や葉水・カルシウム剤の散布を行ってください。

☆加工ほうれん草

(担当：中村)



平成27年産の加工ほうれん草の作付を希望される方は農産園芸課までご連絡ください。

☆加工甘藷

(担当：柘山)



4月下旬から5月においては雨が長く活着が良く生育は順調に進んでいるようです。今後は天候の状況にもよりますが、病害虫の発生が懸念されますので、こまめな圃場確認をお願いします。

☆加工人参・秋作加工大根

(担当：柘山)



加工人参は、7月20日〜8月20日の約1ヶ月間程度の間が播種時期です。種播き後120〜150日程度で収穫時期を迎えます。

加工大根については、9月5日〜9月20日までが播種時期となり播種後60日〜70日程度の日数で収穫を迎えます。

加工人参・秋作加工大根の作付を考えていらっしゃる方は申込をお願いたします。

☆キャベツ・グリーンボール

(担当：柘山)



グリーンボール・キャベツの出荷が始まっています。

4月5月の天候不順等で若干の生育遅れが見受けられます。日照不足、降雨での病害発生が懸念されますので圃場巡回をこまめに行ってください。

これから収穫の最盛期を向かえますので体調管理などにも十分注意して作業をお願いします。

病害虫の使用農薬については農産園芸課までお問い合わせください。

☆カボチャ

(担当：梅木)

契約秋カボチャは8月の頭に播種を行い、中旬に定植、9月中旬から下旬に交配を行い、11月に収穫を行う作型です。

作付を希望される方は農産園芸課までご連絡をお願いします。

☆白ネギ

(担当：梅木)



梅雨時期に入ります。排水対策のため、圃場周りに排水路を必ず作りましょう。水が圃場に溜まって

しまくと白絹病や軟腐病等の発生が考えられるため、排水を徹底しましょう。また、降雨後は排水路が崩れていることがあるので、崩れた際は再度土上げをお願いします。

削込みは茎の太さが5mm〜6mmになった頃に行いますが、追肥とあわせてオリゼメート粒剤(軟腐病対策)やモンカットフロアブル40(白絹病対策)等を散布し、3〜4cm程度ずつを2回に分けて行ってください。

また、除草の対策をしっかりと行わないと初期の生育と以後の管理に影響を与えますので、初期除草の徹底をお願いします。

各品目の栽培のお申し込み・お問い合わせはJAえびの市農産園芸課(☎3315756)までご連絡ください。

農業用廃プラスチック集積日

農業用廃プラスチックは決められた収集日に出してください

塩化ビニール (ハウス用ビニール等)

- ・集積場所
えびの市一般廃棄物最終処分場
- ・集積日 偶数月第3火曜日
- ・時間 午前9時〜午後4時

6月の集積日：6月16日

※ビニールとポリマルチは混ぜないでください

営農情報

☆水稻

(担当：朝倉・内村)

6月に入り、いよいよ田植えの時期となりました。昨年よりも一層の良質・良品質米生産に向けてしっかりと管理していきましょう。

田植えの際は、箱施薬を必ず散布してから田植えを行ないましょう。(ウンカ類飛来数の多い少ないにかかわらず、初期の予防対策として必ず施用してください)

◎デジタルパウアー箱粒剤・1箱当たり50g

水田の立地条件や年柄によっては、いもち病や害虫類の多発が懸念されます。箱施薬を散布しても生育中の発生動向には十分注意し、病害虫の発生が見られたら早期に防除を行ってください。

※毎年、箱施薬剤と除草剤をま
ちがえて使用してしまいうトラ
ブルが発生しています。高齢
者や農作業に不慣れな方等が
箱施薬を散布する場合は、特
に注意をお願いします。

◎農産関係◎

前作がイタリアンライグラス等や雑草が繁っていた場合などで、早期の鋤込みが出来なかったところは、ガスによる根腐れが発生する恐れがあります。ガスが原因と思われる生育不良が発生した場合は、除草剤散布後の5日間程度を除いて、落水ないし浅水管理して(軽くひび割れがはいる程度にして)ガス抜きを行いましょ。

また、土壌条件等の環境にもよりますがヒノヒカリは品種の特性として、活着が悪い(初期の生育が非常に悪い)という特徴があります。そのため植え付け当初は植え傷みも含めて特に見劣りする場合がございます。基肥が不十分であった場合などを除き、分けつ肥の施肥は倒伏を助長する恐れがありますので、行わないようにしましょう。

にこまるの品種特性としては植付け期から最高分けつ期まで徒長気味な印象を受けます。次第にがっしりと強く太くなりますので経過を待ちましょ。不明な点や不安な場合はお気軽にお問い合わせください。

品種作付けの間違いに十分注意しましょ。今年もにこまるの作付けがえびの市管内で行われています。植付けを依頼する場合など、間違え可能性が考えられますので、慎重に行いましょ。



☆除草剤

除草剤には粒剤、フロアブル剤(液剤)、ジャンボ剤、顆粒剤など様々な種類がありますが、いずれも内容成分の水中拡散性が高い性質がありますので、詳しい使用方法は農薬のラベルを十分確認したのち、使用してください。

◎殺虫除草剤

「シヨウリヨクジャンボ」

除草剤とジャンボタニシの食害を防止する薬剤の混合剤です。バック入りの投げ込み専用で使いやすく、通常の除草剤を投入する時期に使用すると、除草と同時にジャンボタニシの食害を一定期間防止します。殺虫効果はありませんが、一番被害に遭いやすい初期の生育時に食害を抑制することにより被害の軽減に効果があります。

◎ジャンボタニシ防除剤

「スクミノン」

シヨウリヨクジャンボと違い、完全にジャンボタニシをメインとした防除剤です。こちらは除草効果はありませんが、ジャンボタニシを殺害もしくは異常行動をとらせることで、苗の活着時期の食害を防ぎます。

1反に1袋(4kg)の全面散布が基本ですが、水口周辺の被害が多いところにはスポット散布も効果的です。

※使用上の注意!

農薬の使用は決められた用量・使用時期・使用方法を守って使用してください!

今回紹介しましたシヨウリヨクジャンボとスクミノンの同時併用はしないでください!

営農情報

◎担い手支援関係◎

「田植え作業」まだまだ受付中！

いよいよ田植えの時期となりました！

JAアグリランド田の神さあでは田植え作業の申し込みを受け付けていますので、よろしく願いいたします。

- ※その他の作業も随時受け付け中です。
- ※作業料金は、「JAえびの市農業機械銀行農作業料金表」に準じさせていただきます。
- ※作業希望日については予約状況等により調整させていただく場合がありますので、ご了承ください。



お申込・お問い合わせは

— 丁寧な作業をお約束! —

(株)JAアグリランド田の神さあ

—えびの市大字原田2206番地 (旧JA飯野駅前農業倉庫事務所跡) —

☎ 0984-33-0111

経営所得安定対策等の交付申請と 転作計画書の提出を忘れずに！！

経営所得安定対策等（転作奨励金等）の交付を受けるためには、交付申請書と転作計画書を提出する必要があります。

申請の締切日が6月30日となっておりますので、まだ申請書・転作計画書の提出をされていない方、あるいは計画に変更のある方はお早めにえびの市役所の畜産農政課にて手続きを行ってください。